

観察研究へのご協力をお願い

-日常診療で得られた皆さんのデータを利用させていただく研究-

社会医療法人 博愛会では、以下に該当される患者様を対象とした
臨床研究（後ろ向き観察研究）を実施しております。

課題名【 **乳腺線維症のマンモグラフィおよび超音波所見の検討** 】

- 研究責任者：診療放射線技師 原口織歌
- 研究の概要
乳腺線維症は間質の増生と小葉、乳管の萎縮を特徴とする良性の非腫瘍性病変であり、糖尿病や自己免疫疾患と関連があるとされています。
臨床所見、画像検査において乳癌との鑑別が困難な場合があり、診断には注意が必要です。本研究では画像的特徴、基礎疾患との関連傾向を明らかにすることで、日常の検査や診断に役立つ情報を得る事を目的としております。
- 研究の対象となり得る患者様
2010年1月1日～2025年12月31日までの期間に当院で病理学的検査を受け、乳腺線維症と診断された方が対象です。
- 研究の方法
後ろ向き観察研究として、対象期間内の症例を抽出し、以下の項目について調査します。
<調査項目>
① マンモグラフィ画像 ②超音波画像 ③発見契機 ④基礎疾患の有無
- 研究期間
倫理審査委員会承認日 ～ 西暦 2026年9月30日
- 情報の保管・管理
研究責任者は、研究等の実施に関わる文書（申請書類の控え、通知文書、研究対象者識別コードリスト、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を施錠可能なCT室に保管します。保管期間は、研究の終了について報告された日から5年を経過した日、又は研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間です。保管期間終了後に紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄します。その他媒体に関しては適切な方法で破棄します。
- 資金と利益相反

本研究は、研究資金はなく、研究に関して開示すべき利益相反はありません。

● 研究成果の公表について

本研究の成果は第42回 日本診療放射線技師学術大会（2026年9月開催予定）で発表します。

公表の際には、個人が特定される事がないよう、十分配慮します。

本研究の実施については、「社会医療法人博愛会 倫理委員会」で承認されています。

お名前・住所などの個人情報が入ることは無く、あなたのプライバシーは厳重に守られ、一切公表されません。

このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む実施についての情報を公開することが必要とされています。

本研究について何か気がかりな点や、より詳しくお聞きになりたい点等ございましたら、下記相談窓口までお問い合わせください。

本研究の対象に該当する場合であっても、ご自身の情報や画像情報を本研究に用いることを希望されない場合は、あなたの情報を本研究に用いることはしません。

その際は、遠慮なく下記「お問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

2026年 5月



<問い合わせ 連絡先>
社会医療法人博愛会 相良病院
放射線技術部 原口 織歌
099-224-1800（内線：1413）
（平日 9 時～16 時対応可）